

項目	内容
名称	インドボダイジュ、テンジクボダイジュ [英]Peepal [学名]Ficus religiosa L.
概要	インドボダイジュは、インドや南アジアで広く栽培されているクワ科の常緑高木で、高さ8~30 m程度に生長する。主に樹皮、葉、種子、果実が用いられる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 樹皮：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹皮はフェノール類、タンニン類、ステロイド類、アルカロイド類、フラボノイド類、β-シトステロール-D-グルコシド (PMID:22228961) (7) など、種子はフィトステロリン (phytosterolin) 、β-シトステロールなど (PMID:22228961)、果実はフラボノイド類 (ケンペロール、ケルセチン、ミリセチン) など (PMID:22228961) (33) を含む。
分析法	-
有効性	
ヒトでの評価	<p>循環器・呼吸器</p> <p>調べた文献の中に見当たらない。</p> <hr/> <p>消化系・肝臓</p> <p>調べた文献の中に見当たらない。</p> <hr/> <p>糖尿病・内分泌</p> <p>調べた文献の中に見当たらない。</p>

生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(7) 中薬大辞典 小学館</p> <p>(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳</p> <p>(33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ</p> <p>(34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一</p> <p>(35) 新分類 牧野日本植物図鑑 北隆館</p> <p>(80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ</p> <p>(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:22228961) Pharmacogn Rev. 2010 Jul;4(8):195-9.</p>